



ほしの雅春は、議会改革を通して議会品質を高めます。



この街で生きる！

この街で育ち

この街で生まれ

本会議質問・答弁令和3年12月議会～令和4年12月議会



令和4年3月議会

問 介護施設等での面会禁止措置状況を把握しているか。また、国などから指示があるのか。

答 一律の禁止はなく、市内5つの特別養護老人ホームでは、昨年12月頃は4つが対面、1つはオンラインでの面会を実施していたが、現在は感染状況を踏まえ全施設で対面での面会を中止していると聞いている。交流

問 面会再開への支援策は。家族面会室の整備に係る国の支援制度がある。

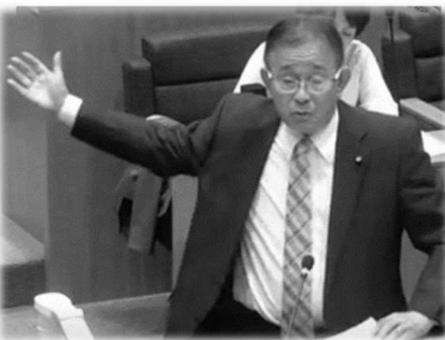
答 面会再開への支援策は。家族面会室の整備に係る国の支援制度がある。

令和3年12月議会

問 10年間の利用者平均は年に約1万2,400人であり、市が毎年支払っている指定管理料を利用者1人当たりで換算すると、約7,400円となる。

答 管理報告書の提出頻度はどれくらいか。また、職員の現地派遣は行っているのか。

問 指定管理者は毎月及び年度終了後に報告書を提出することとなっている。また、指定管理者へのモニタリングを実施するため、年に4回程度、職員が市民休暇村に赴き、現地で定例会を開催している。



星野 雅春 議員 (主な答弁者：福祉健康部長)

問 コロナ対策を徹底し、施設入所者等と家族の面会を可能に!!

—各事業所も面会の重要性を理解していると考えている—

が入所者の心身の健康に影響を与えることが指摘されており、国は2回目のワクチン接種状況を踏まえ、昨年11月に高齢者施設の入所者と家族らの対面での面会の再開を検討するよう施設側に求める通知を发出了。

圧倒的提案力で未来を拓く!

かりや

- ◆令和2年9月議会
- コロナ禍・生活福祉支援金貸し付けについて。
- 依佐美工業団地2期工事の進捗について。
- 介護施設等コロナ対応の情報共有について。

- ◆令和2年12月議会
- コロナ禍。市民の身体、心、歯の健康について。
- 健診控え、口腔ケアについて。
- スポーツ施設のネット予約の課題。
- 小垣江北部地区区画整理、猿渡川橋梁設置について。

- ◆令和3年3月
- 役所組織改編について
- 離婚に伴う公正証書作成支援について
- 富士松南小学校体育館建設について
- 依佐美中学校西側社宅跡地住宅開発について
- IT技術者養成学校設立について
- 駅北口地域交流館について



星野 雅春 議員
魅力ある公園やまちづくりのための環境整備を!!
 —公園の魅力を高める取組を進めるため、運用等を検討する—

問 最近の動向として、各地でキッチンカーの出店やマルシェの開催など、公園を活用したイベントが多く開催されている。本市で行った実証実験の目的やその成果は。

答 キッチンカーの移動販売やマルシェの開催により、公園の魅力を創出されることなどを確認できた。

問 公園などの公共施設を出店場所とする際、市での仕組み作りが必要と考える。出店に関する課題と今後についてどう考えているか。

答 公園での出店については、公園機能が高めるものであり、来場者へのサービスの提供という目的であれば出店が可能と考える。ただし、公平性が確保された選定方法、マルシェ等以外の公園利用者・周辺住民への配慮などの運用に向けたルールづくりが必要と考える。こうした課題を解決しながら、公園内に



公園を活用したマルシェの開催等の環境整備を

問 令和3年の自損行為による救急搬送の件数は。

答 本市において、自損行為により救急搬送された方が52人、そのうち亡くなられた方が15人である。

問 自損行為の統計をどのように生かしているのか。

答 本市における自殺者数の統計は、国が公表する地域における自殺の基礎資料を用い、国や県との比較、性別、年齢別、職業別の分析を行い、各種自殺対策への取組に生かしている。

問 病院カウンセリング、ゲートキーパー等へのつなぎ、アウトリーチも含めた取組は。

答 本市では、自殺対策を支

(主な答弁者：福祉健康部長)
自殺対策への取組に力を注いでいくべき!!
 —各種相談窓口へつなぐための情報発信や啓発等を実施している—

える人材としてゲートキーパーを養成し、各種相談窓口へつなぐための情報発信、啓発等の取組を実施している。今後、自殺未遂者が医療機関から行政や地域のゲートキーパー、各種相談窓口へつながるよう、連携を深めていく。

各種相談窓口へつながる連携を深める



令和4年12月議会

星野 雅春 議員
市民の交通権・移動権が保障されるような交通施策の充実を!!
 —適切な施策を策定・実施するとともに市民の理解を深めていく—

問 国民の交通権や移動権とは何か。また、この権利を保障するために刈谷市が担う役割は。

答 交通権や移動権は、交通や移動に関して住民が持つ権利の総称と言われているが、法律において具体的な定義はない。本市としては、国との適切な役割分担を行い、地域の諸条件に応じた施策を策定し、実施する責務を有していると考えている。

問 稲沢市で実施している「おでかけタクシー」は、75歳以上の方や妊婦の方などにタクシー運賃の半分を補助している。デマンド交通の導入も含めてどのように考えているか。

答 公共施設連絡バスは多くの方に利用していたが、市内バス路線でカバーできない地域における交通手段としてタクシーは有効な移動手段と考えている。タクシー補助につ



実証実験を通して、市民にとって使いやすいデマンド交通の導入を

生活課題を政策課題に!

◆2019年刈谷市議会議員選挙において、市民の皆様と「すべての本会議に登壇質問」をお約束しました。「身内の子が離婚した。養育費が心配」「稲沢の友達に聞いた高齢者、妊婦さんにタクシー補助」

「コロナ禍、施設の父親に会えない」など日常の会話の中から問題、課題を洗い出し、質問を組み立て、政策実現に勤めてきました。

令和3年〜令和4年12月議会

(議会日よりから)

投票に行こう



まじ・すぐ市議
 ほしの雅春
 MASAHARU

情熱系

◆令和3年6月議会

- ・ コロナ禍、保育現場の現状について
- ・ 総合生活支援金貸付制度について
- ・ ニート引きこもり支援活動の現状について
- ・ 高齢者緊急通報システムについて
- ・ 地域総合型スポーツクラブについて

◆令和3年9月議会

- ・ ICT化支援について
- ・ 2メートル以下の急傾斜地区の対応について
- ・ 依佐美工業団地内の建築規制等について

◆令和3年12月議会

- ・ 市民・児童、生徒の健康診断について
- ・ 市民休暇村について
- ・ コロナ禍・病院、介護施設等の面会制限について

◆令和4年3月議会

- ・ 総合教育会議について
- ・ プール授業について
- ・ 全国学力・学習状況調査について

◆令和4年6月議会

- ・ 魅力ある公園づくりについて
- ・ 電気代高騰の懸念、指定管理者への対応について
- ・ コロナ貸付支援特例制度
- ・ 地域総合型スポーツクラブについて

◆令和4年9月議会

- ・ 暑さ対策、ヒートアイランド対策について
- ・ 地域体育館構想について
- ・ 自損行為統計が示すもの
- ・ タクシーチケット制度について
- ・ 地域担当職員制度について